

第16回 ほしのいえ★チャ



リ  
テ  
ィ  
ー  
コ  
ン  
サ  
ー  
ト  
&  
講  
演

演 奏

トーンチャイム

(菅野真子指揮 シルベスタークワイヤー)

講 演

谷口 滋 講演題目「教育現場での人権」

コンサート

田中哲朗

日 時: 12月7日(日) 午後3時開演

入場料: 2000円

会 場: ムーブ町屋3階ホール

(地下鉄千代田線・京成線町屋駅下車 徒歩1分)

★ 問い合わせ先 ほしのいえ ★

TEL/FAX: 03-3805-6237 (月~木 13時~16時)

携帯: 090-4396-7446 (三上)

振替口座番号 00170-2-556971 口座名 ほしのいえ

人が人らしく生きていくために

—まつろわぬ人から若者たちへ—

ホームページ <http://homepage1.nifty.com/hosinoie/>

メールアドレス [info@hosinoie.net](mailto:info@hosinoie.net)



星にみちびかれ

第16回 ほしのいえ  
チャリティーコンサート&講演



# 人が人らしく生きるために

—まつろわぬ人から若者たちへ—

## ほしのいえコンサートへようこそ

ほしのいえのコンサートは「楽しみながら少し考える」をモットーに16回目を向かえることとなります。特に戦後60年の節目を向かえた2005年、この国が、戦争が出来る国への舵取りがはっきりとした時、戦争で真っ先に犠牲になるのは社会的に弱い立場に置かれた人々だと直感し、小さな運動グループだけれどメッセージを発するコンサートを作ることを確認し、野宿者支援の立場から、女性の立場から、障がい者の立場から、暴力について、暴力の最たる形の戦争について発言をしていただきました。

私たちは戦争（暴力）反対の立場を明らかにして行動しますが、なぜ人間が暴力を是認するようになるかを知り、そこに視点を移さなければ暴力の根は絶えないとも考えます。

暴力是認にいたる経過は「見させない、聞かせない、言わせない」の徹底があるように思います。剥き出しの暴力が眼前にあれば身構えて抵抗するでしょうが、毎日の生活の中で、企業の中で、生活の安定を担保にされた時、家庭のため、会社のため、国のためと自己弁護し「仕方がない」と現実を肯定してしまう。そして口をつぐみ、異を唱える者を排除する自分に仕立てあがる。こうして暴力を容認する風土がしっかり根付く。

人間の変化の凄まじさを、沖電気と闘う田中哲朗さんは歌とトークで伝えてくださいます。

次代を担う子どもたちを教育する先生たちが「人間らしく生きるために」どのように苦闘しているのかを谷口滋さんがお話しして下さいます。

まつろはぬ人たちの闘いと思いが若い世代へとつながることを願いつつ。

### 出演者紹介



#### 田中 哲朗 たなか てつろう

- 1948年3月 福岡県遠賀郡水巻町で生まれる。
- 1969年3月 沖電気工業（株）入社。
- 1978年11月 1350名の指名解雇強行される。
- 1981年6月 営業への転勤命令が出されたことを拒否して解雇される。  
翌日より毎朝、門前に立つ行動を開始、現在にいたる。
- 1987年3月 沖電気争議団和解。70名の内35名が職場復帰。  
争議団は田中の事件解決も会社に要求するが、会社は金銭解決のみを示したため、「会社が非を認めたことにはならない。」とこれを拒否。
- 6月 沖電気株主総会に株主として出席、発言。以後、現在まで毎年継続。
- 2005年12月 多田瑤子反権力人権賞受賞。



#### 谷口 滋 たにぐち しげる

- 1948年8月生まれ。公立中学校教員  
東京都立学校教職員組合委員長  
論稿「共生時代の学校を構想する」  
(八千代出版所収2003年)

